

鎌倉楽しむ会

歴史のロマンを訪ねて
修行僧が歩いた

天園ハイキング

(スタート・鎌倉駅 9時40分)

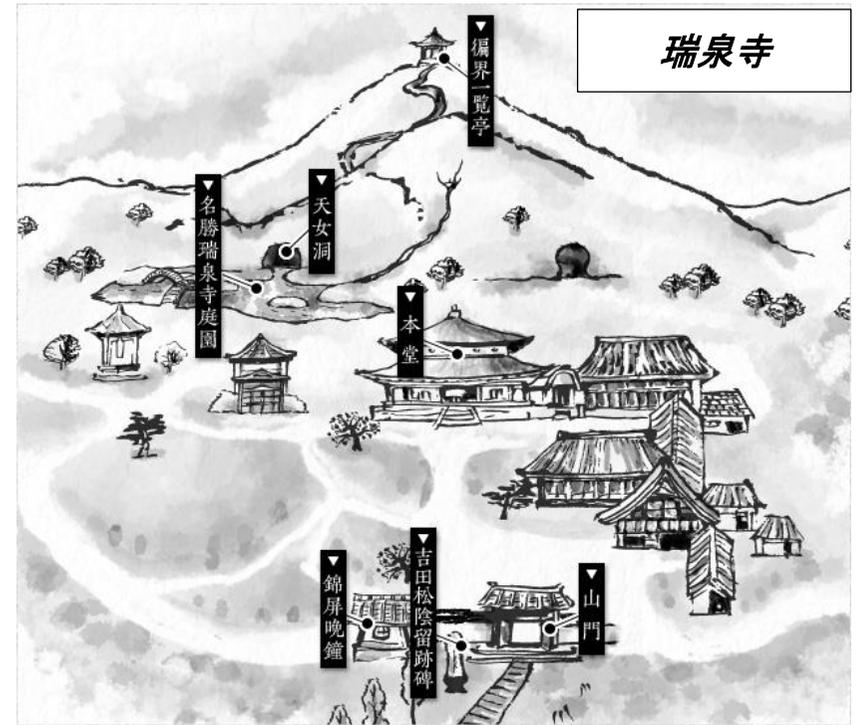
平成28年 4月 27日

又は

平成28年 5月 11日

天園ハイキング

- 鎌倉の北東を取り囲む山々、鎌倉アルプスの尾根は、かつては修験道のための道。今も深山の雰囲気たたえている。
- 瑞泉寺から最高峰の大平山を経て建長寺に至る約4キロ、三時間ほどのコースで、相模湾や富士山を望む風景、数々の旧跡に出会うことができる。起点は瑞泉寺で奥津城やぐら、貝吹地蔵から休憩所。休憩所の上方にある崖からは、ほぼ三百六十度のパノラマが楽しめる。天園は安房、上総、下総、武蔵、相模、伊豆の六国を望むことができたため、六国峠ともいわれてきた。標高百五十七・二祀の太平山へ向かう。本道から分かれた覚園寺道には鎌倉随一のやぐら群「百八やぐら」がある。本道に戻り、閻魔大王など三体が彫られた十王岩に至る。そこから鎌倉市街と海を一望できる勝上献展望台を経て、建長寺境内の最奥にある半僧坊（建長寺の鎮守）に至る。



瑞泉寺

瑞泉寺

- 錦屏山瑞泉寺は、夢窓疎石がここを禅院相応の地として選び嘉暦三年(1327)に建立した寺。山号の錦屏山は、紅葉ヶ谷を囲む三方の山が秋になると満山に紅葉し、寺の背後に錦の屏風のように広がることから名付けられた。
- 初代関東管領として鎌倉基氏は夢窓疎石に帰依し、瑞泉寺は基氏以後、鎌倉公方代々の菩提寺となった。
- 後醍醐天皇や足利尊氏に帰依された夢窓疎石は、瑞泉寺の作庭にも力を注いだ。岩盤を



削りだした、岩庭とも称すべき庭は、本堂裏に発掘復元され国の名勝に指定されている。この庭は書院庭園の起源となった。夢窓疎石は後に京都の西芳寺、天竜寺の庭園も手がけた。

- 本堂には徳川光圀が寄進した木造千手観音坐像(市文)の、釈迦牟尼像ほか開山堂には、夢窓疎石坐像(国重文)が祀られている。また、地蔵堂には「どこも苦地蔵」と呼ばれる鎌倉時代後期の作の地蔵像が安置されている。
- 境内は、早春のウメにはじまり、オウバイ(市天然記念物)、枝垂れ桜、夏にはフヨウ、キキョウ、秋には紅葉、冬にはスイセンと四季の花が咲く「花の寺」としても知られる。周囲の山と一体となった景観をなす境内は、国の史跡に指定されている。

奥津城やぐら



- 鎌倉武士が眠る墓。瑞泉寺の裏山に点在するやぐらのひとつ。横穴式の墳墓に五輪塔が立ち、鎌倉期の武士の墓とされる。やぐらは鎌倉周辺に密集して見られる中世の墳墓です。

貝吹地蔵

- 新田義貞の鎌倉攻めの時、自害した北条高時の首を新田勢に渡すまいと、高時の家来が持って逃げたが埋める場所に窮した。その時、地蔵が貝を吹いて導いてくれ、無事に首を埋められたという伝説がある。



天園休憩所



● 二つある休憩所のうちの
一つ、品書き看板には、「ビール 300 円、日本酒 300 円、缶
チューハイ、うどん入りおでん
500 円、あまざけ、冷やっこ
400 円など、季節によっては、
朝摘みのみょうがなどもあり
ます」と書いています。

休憩所付近からの眺望

● 天園休憩所付近からは、大海
原と由比ガ浜や稲村ヶ崎が見え
ます。心洗われるようです。鎌倉
時代の修行僧達も厳しいなか
にも、このあたりで少しリラックス
されたでしょうか？



獅子舞



● 秋の写真です。鎌倉でも
屈指の紅葉の名所。秋には野
趣溢れる紅葉が見事です。「獅
子舞」の名前の由来は、うず
くまった獅子に似た形をした
奇岩がそこかしこに点在する
ことからということです。

百八やぐら

● 山を囲むように約180穴
ほどあるといわれ、最大7段
にもなっている。ここは鎌倉
で最も規模が大きいやぐら
群です。数が多いことから、
仏教でいう百八の煩惱にな
ぞらえて付けられた名のよ
うです。



十王岩



● 冥界の判事である十
王のうち、閻魔大王などの
三王が浮き彫りされてい
る。神奈川県選50選「鎌倉
十王岩の展望」から、鶴岡
八幡宮の真後ろあたりか
ら、若宮大路、由比ヶ浜を
一望できる。

半僧坊 (はんそうぼう)



● 後醍醐天皇の皇子「無文元
選禅師」が開いた浜松市に
ある方広寺が半僧坊の本元。禅
師につき従っていた男が、薪
採りや水汲み、食事の仕度
をしていたので、「飯僧」と呼
ばれ、後に「半僧坊」と呼ば
れるようになったという。

建長寺 ①

● 臨済宗建長寺派大本
山。鎌倉五山第一位。山
号は巨福山。五代執権の
北条時頼が、宋の蘭溪道
隆を開山に招き開いた。
日本で最初の禅専門道場
の禅寺。山号は、寺の前
を通る巨福呂坂に、寺名
は創建時の年号建長五年
(1253) に由来する。地
獄谷と呼ばれた刑場の跡
地に建てられた。
● 道隆は宋の厳格な禅
風により、千人を超える
修行僧を指導した。その



とき使われた自筆の指
導書「法語規則」が国
宝として残っている。
道隆は、六十六才で示
寂、後宇多天皇から大

覚禅師という日本初の禅
師号を与えられた。禅師
死後も建長寺は、北条氏、
足利氏に保護され、隆盛
を誇った。
● 境内は国指定史跡。総
門を入ると楼上に五百羅
漢などを安置した三解脱
門（三門《国重文》）が
あり、その先に、本尊地
蔵菩薩を祀った仏殿（国
重文）、儀式法要を行う
法堂（国重文）、唐門（国
重文）、方丈が並んでい
る。鎌倉時代末期には三

門、仏殿、庫裡、僧堂、
衆寮などが回廊によっ
て結ばれ、庫裡と僧堂、
浴室と西浄（便所）が左
右対称に並び、中国風の
配所になっていた。この
建長寺の建築法が日本
の禅寺の元となってい
るが、震災や大火で焼失
し、現存する建物は江戸
時代に「沢庵和尚」の進
言などによって移築再
建、復興されたものであ
る。
● 創建当時から変わ



らず残っているのは、
仏殿の前に植えられ
た「道隆」が宋から種
を持ってきたと伝え
られる七本のビャク
シンのみである。幹回
り七メートルもあり、
七五〇年に及ぶこの
寺の歴史を眺めてき

建長寺 ②



た巨木である。

● 三門右手の鐘楼には「時頼」寄進でできた梵鐘（国宝）があり、道隆による銘文が浮き彫りにされている。

● 唐門の奥には方丈があり、その背後には、開山大覚禪師作といわれる庭園は国指定名勝で、日本

の禅宗庭園の源でもある。

● 長い歴史をほこるこの寺には数々の言い伝えがあるが、そのなかで現在も私たちになじみ深いものに「けんちん汁」がある。ゴボウ、大根などの根菜と里芋や豆腐などを油でいためたこの汁は、蘭溪道隆が野菜の皮やへたを無駄にしないようにと作った料理が今に伝えられたもの。豆腐を崩して入れるのは誤って落とした豆腐を使ったことからきている。建長汁がなまっ



建長寺法堂の雲竜図（小泉淳作画伯）

* 語句説明 *

- **執権**—しつけん鎌倉幕府で将軍を補佐し、幕政を統轄した職。源頼朝の死後、北条氏が台頭し北条義時が侍所別当和田義盛を滅ぼして、政所、侍所の両別当職を兼ね、幕府の実権を握って執権と称し、以後北条氏が世襲した。鎌倉幕府の最高責任者。
- **夢窓疎石** (1275~1351)—鎌倉時代末期から南北朝時代の禅僧。足利尊氏らに篤信された。鎌倉・瑞泉寺の開山に迎えられた後、京都・天龍寺などの開山ともなる。造園の設計でも知られる。五山文学の発展にも寄与した。
- **北条時頼** (1227~1263)—鎌倉幕府 5代執権有力御家人・三浦一族を滅亡させ、5代将軍九条頼嗣を京都に追放するなど、反北条勢力を一掃し北条氏の権力を堅固なものとした。寺社を保護し禅を篤く信仰。蘭溪道隆を開山に招き建長 5年 (1253) に建長寺を創建した。

* 鎌倉雑学帳 *

禅を世界へ

—宗演と大拙—

- 禅は西欧社会でも広く知られるが、その先駆となったのがしやくそうえん円覚寺二〇七世・釈宗演 (1859~1919) と仏教思想家・鈴木大拙 (1870~1966) である。
- 宗演は明治 26

年 (1892) シカゴで開かれた万国宗教会議に出席し、「仏教の要旨並びに因果法」と題して講演。禅が西洋諸国に伝わるきっかけとなった。

● 鈴木大拙は釈宗演の弟子にあたる。大拙は明治 31年 (1897) に渡米、以来十数年間にわたって研究生を送り、英文で「大乘仏教概論」を出版するなどした。

● 釈宗演は明治 38年 (1904)、ふたたび渡米。ニューヨーク、ボストン、ハーバードなどアメリカ各地を訪ね、禅の意義を説いた。その活動はアメリカの思想界の注目をあつめた。その間

大拙が通訳をつとめた。釈宗演はその後渡欧し、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアを訪れ、インド、中国を経て帰国した。大拙はのちに、「明治三十八年夏より三十九年の春の間北米各地に随伴したるは、予が北米生涯中の最も幸福の時節であった」と書きとめている。

● 釈宗演は明治・大正期の仏教界の重鎮として「夏目漱石」ら知識人も参禅するほどの存在となった。大正 8年 (1919)、六十一才で示寂。大拙は明治、大正、昭和を通じ仏教研究に取り組み、“ZEN”を世界に広

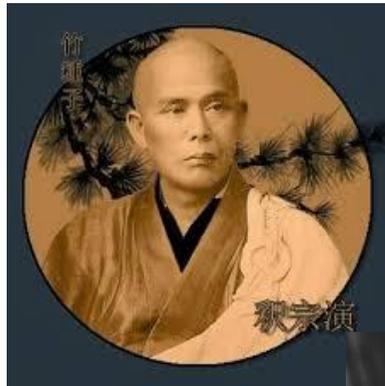
めることに力を注いだ。

完



* 建長寺のボタン。訪れる頃には美しく咲いていることを期待して！

参考文献: 鎌倉の寺 (かまくら春秋社)、鎌倉観光文化検定テキストブック、都市鎌倉の中世史、夢窓疎石・日本庭園を極めた禅僧、北条時頼、鎌倉散歩コース、各寺院ホームページ、PCウィキペディア



釈宗演禅師

仏教思想家
鈴木大拙先生

